

授業科目 運動器系治療学

【担当教員名】 相馬 俊雄、佐藤 成登志		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 運動器疾患に対する理学療法を実施するために、四肢・体幹の運動・関節障害の病態、回復過程、治療手技（手段）について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 運動器疾患における理学療法の治療手段の種類を列挙することができる。					
2. 病態の回復過程を予測することができる。					
3. 障害と治療手段を関係付けることができる。					
4. 時期に応じて適切な治療方法を選択することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	総論	1・2	講義、担当：相馬 俊雄		
2	高齢者の骨折	1・2	講義、担当：相馬 俊雄		
3	運動器疾患における運動療法 1	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
4	運動器疾患における運動療法 2	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
5	股関節疾患に対する治療学	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
6	大腿骨頸部骨折に対する治療学	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
7	変形性股関節症に対する治療学	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
8	膝関節疾患に対する治療学 1	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
9	膝関節疾患に対する治療学 2	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
10	足関節疾患に対する治療学 1	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
11	足関節疾患に対する治療学 2	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
12	肩関節疾患に対する治療学	1～4	講義、担当：佐藤 成登志		
13	脊椎疾患に対する治療学 1	1～4	講義、担当：佐藤 成登志		
14	脊椎疾患に対する治療学 2	1～4	講義、担当：佐藤 成登志		
15	まとめ	1～4	講義、担当：相馬 俊雄		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		運動器リハビリテーションの機能評価 I (第4版)	監訳 陶山哲夫 他	エルゼビア・ジャパン	10,000円+税
		運動器リハビリテーションの機能評価 II (第4版)	監訳 陶山哲夫 他	エルゼビア・ジャパン	10,000円+税
		整形外科における理学療法	メヒトヒルト・デルケン	ガイアブックス	2014・6,800円+税
その他の資料		講義時に配布する			
【評価方法】 定期試験、出欠、授業態度		【履修上の留意点】			